

## とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	西東京市富士町 1-7-2
園名	はこべら保育園

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

五感（触覚、視覚、聴覚、味覚、嗅覚）を磨く

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）  
初めて触れる様々な感覚の世界を、どう子ども達が捉えて興味関心を広げていくかを見て、自由な発想を観察し、発見を楽しめるようにしていきたい。

### 2. 活動スケジュール

- 9月 鏡の世界を覗いてみよう（視覚）
- 10月 手指を使って、絵の具を触ってみよう（触覚、視覚）
- 11月 全身を使って、凹凸や高低を感じてみよう（触覚、視覚）
- 12月 いろいろな食材の匂いを嗅いでみよう（嗅覚）
- 1月 音の響きを感じてみよう（聴覚 触覚）

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）  
大きな鏡、指絵の具、模造紙、バランス平均台、巧技台、木製ハードル、食材、どんぶり、バケツ太鼓、和太鼓

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・ プールで、指絵具（8色）の中から子供たちが好きな色を選び、掌に出してもらおう。  
その絵具をテーブルに敷いた模造紙の上につけてこすったり、重ねてみて色の混ざり具合や感触を思い思いに楽しむ活動となった。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

- 「き（黄色）」「ピンクする」と言って好きな色を選んでいった。一度に複数色選んだり、前と違う色を選んでいった。
- ・ ポテっとした絵の具を指でつまんでみたり、手を握りしめたり、紙にこすりつけたりしていた。
  - ・ 紙、腕、プールの壁など思い思いのところに絵の具を広げていた。
  - ・ 絵の具の混ざり具合を、掌を見せに来るなどして仕草で教えに来る。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ プールにテーブルを出して行ったことで、活動を制限することなく存分に絵の具の発色を楽しむことができていた。生き生きと遊んでいる姿が印象的で、環境を用意し子供の探究活動を見守ることで、子供それぞれの楽しみ方や発見があったように思う。
- ・ 皿に絵の具を盛る、水や氷などを用意しておくなど新たな環境を設定することでさらに、探求心が芽生えていくのではないかと思った。